



玉高SSH通信



岡山県立玉島高等学校

SSH推進室

第6号(令和7年12月発行)

第6号では、SSHベトナム海外研修について紹介します。

○SSHベトナム海外研修

12/7(日)から12/12(金)までの4泊6日間、普通科2年生4名と理数科1年生2名が参加しました。現地大学生との科学実験や地元岡山からベトナムに進出している企業での研修、カンザー国立公園でのフィールドワークなどを行いました。時折、疲れも見えましたが、体調不良者はおらず、終始一生懸命に楽しみながら研修に取り組んでいました。研修を通して、ベトナムの自然環境や地元企業の科学技術力の高さ、文化・歴史を体感することができました。

12/9(火)

戦争証跡博物館・統一会堂での現地大学生との研修



12/10(水)：カンザー国立公園での研修



12/11(木)

ノンラム大学での発表と科学実験



Ryobi (Vietnam) Distribution Service Co., Ltd.での企業研修



以下は参加生徒の事後アンケートでの記述です。文理の枠を超えた学びを多く得られた研修となりました。

- TAZMOとRyobiでは日本でも最先端の技術の利用や製品、物流保管の温度などを大切にしているが、ベトナムでは特に温度管理と優れた人を育成することを特に意識されていたと思います。戦争証跡博物館・統一会堂、ノンラム大学では現地の大学生たちと英語で話す機会ができ、ベトナム戦争の歴史について学べたり、プレゼンテーションで玉島高校の取組などを紹介できたりしたことが良かったと思います。ですが、英語でのコミュニケーションがあまり上手くできなかつたので、英語をより勉強しようと思いました。カンザー国立公園では、日本ではあまり見られない植物や動物が生息しており、環境のことをよく学べたと思います。
- ベトナム現地ならではの文化、環境、感性など、その国の特徴となることに対して見識を深めることができ、また、日本ではなかなか使う機会のない英語でのコミュニケーションを通して、英語力も向上させることができた。国際関係の仕事や他国の人とのコミュニケーションをとる仕事に就く際に役立てていきたい。
- 日本とベトナムの文化や街並みの違いだけでなく、写真などでは気づくことのできない人柄や雰囲気を体感することができた。また、ベトナム戦争の実態を見て学ぶことで、いろいろな影響により、たくさんの犠牲があったことにも気づけた。TAZMOさんやRyobiさんのもとを訪問させていただいたことにより、世界で活躍する方法や日本の現状に気がつくことができた。そして、大学生の方たちとの交流で英語力の大切さに改めて気づかされた。